

## 【目的】

有限責任中間法人日本臨床矯正歯科医会広報委員会では「歯の衛生週間」にちなんで一般市民が歯並びや矯正歯科治療に対してどのような印象や関心を持っているのかなど意識調査を行った結果を発表した。今回はその中でも、「潜在患者への情報提供」に関わる部分について報告する。

## 【資料及び方法】

今回、インターネットを用いて全国一般市民1000人(10代～50代の男女をそれぞれ100人ずつ計1000人)に「歯並びと矯正歯科治療」に関するアンケート調査を実施した。

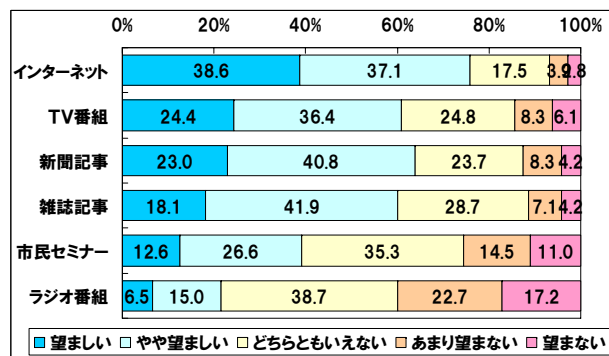
これまでのアンケート調査では、効率や時間、コストなどの問題のため調査対象に偏りがあつたり、調査対象数が少なかったが、パソコンの普及によりインターネットによる全国規模の調査が短期間で可能になった。

## 【結果及び考察】

### ◆ インターネットによる情報提供が多く望まれている

矯正歯科治療について、望ましい情報提供の方法について調査を行ったところ、インターネットという回答が1位となった。その他、TV番組、新聞記事、雑誌記事と続いている。インターネットが1位となった背景には、自ら情報を探しに行く事が出来るという媒体特性が出ているものと考えられる。

質問：矯正歯科治療について、どのような情報提供の方法が望ましいですか？



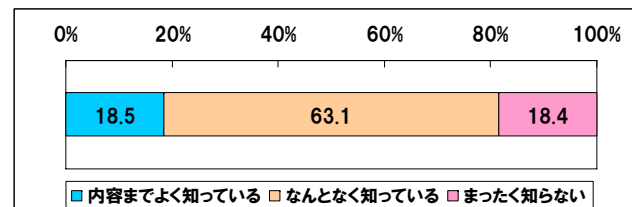
### ◆ 矯正歯科治療について求められている情報は、「費用」、「治療期間」、「治療法」

矯正歯科治療について知りたい点について、自由記述形式で回答してもらったところ、「治療に掛かる費用」、「治療期間」、「治療の方法」が多数を占める結果となった。その他、「医院の選び方」、「痛みについて」が続いた。

### ◆ 矯正歯科治療を知っている割合は8割と多数を占める

矯正歯科治療の認知度について調査を行ったところ、「内容まで良く知っている」、「なんとなく知っている」と回答した割合は81.6%と多数を占めた。

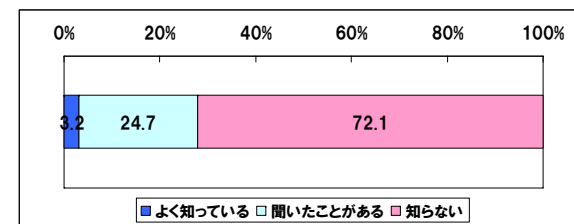
質問：あなたは「矯正歯科治療」を知っていますか？



### ◆ 本会の認知度は27.9%と、昨年度より10%以上上昇

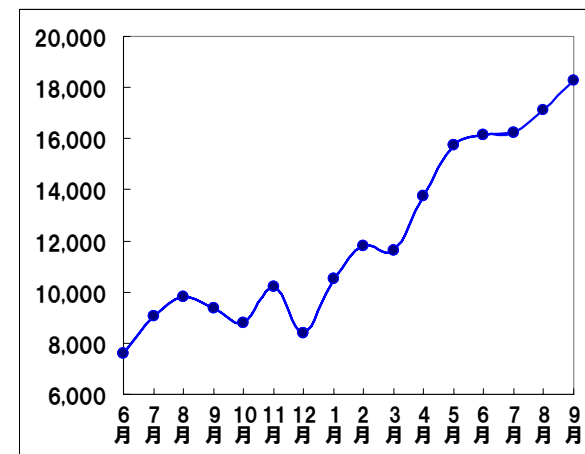
本会の認知度について調査を行った結果、27.9%が認知をしているという結果となった。昨年度の同様の調査では16.1%であり、大幅な上昇が見られた。

質問：あなたは、矯正歯科治療のみを専門に行なう歯科医(オルソドントリスト)で構成されている「日本臨床矯正歯科医会」を知っていますか？



### ◆ 本会のHP訪問者数は1年で倍以上に増加している

法人化に伴い、2005年6月に本会HPを新規アドレスへと移行した。月次の訪問者推移を調査した結果、1年間で倍以上に増加していることが判明した。これは、本会の認知度向上を裏付ける結果である。



今回の、潜在患者への情報提供についての調査結果により、矯正歯科治療について知りたい点は料金、方法、期間の3点が最も多いことが明らかになった。また、情報提供の方法については、TV、新聞、雑誌を抑え、インターネットを望む声が高くなった。

矯正歯科治療自体の認知度は81.6%と高い数値を示し、本会の認知度も27.9%と多くなっている(昨年は16.1%)。

また、本会HPの訪問者数も2005年5月は7,575、2006年6月は16,130と倍以上となっている。

## 【結論】

潜在患者が求めている情報は「料金と期間、方法」であり、インターネットでの情報提供が重視される。また、矯正歯科治療自体の認知度は高く、本会の認知度も高まってきている。本会HPの訪問者数も劇的に向上しているため、HP上の情報提供も、調査内容を踏まえ、更に推し進めていく必要がある。